

文学研究科の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方策を模索し、的確に実践していくことを理念としています。特に、学部教育を土台として培った専門性をさらに深く究めることによって、叡智を磨き、真贋を分別する洞察力を養い、研究・教育の発展に寄与します。

日本語日本文学専攻では、日本語学・日本文学・日本語教育学の研究領域における専門性を深化させ、日中比較の視点をも加えると共に、地域における言語文化研究・日本語教育研究の拠点としての役割を見据え、問題の設定から解決までを、文学・語学の発展的知識や教育実践活動の成果を大胆に応用しながら独力で行うことのできる人材を育成することを目指しています。

このような観点から、本研究科では、次のような知識・意欲のある人を求めます。

博士後期課程（日本語日本文学専攻）

- (1) 博士前期課程修了程度の高い専門知識と研究能力を有している人
- (2) 大学・短大等において日本語・日本語教育・日本文学の各分野の教育者、研究者として最先端で活躍することを目指す人
- (3) 教育・文化関係諸機関において様々な社会的要求に応えることができる、高い見識を備えた専門職業人を目指す人
- (4) 日本語・日本語教育・日本文学各分野の研究の深化を目的に、「知識基盤型社会」を担うことを目指す教員、社会人

上記の点を踏まえ、以下の方法により意欲的な人を受け入れます。

博士後期課程（日本語日本文学専攻）

専門に関する学力、研究意欲や研究遂行能力、計画性、発表能力については、筆記試験、提出書類、口頭試問により総合的に評価します。

※博士後期課程・英語英米文学専攻は、令和6年度（2024年度）春季入学以降の募集を停止します。